

# 幸せつなぐ4つの重点的取り組み 令和7年度当初予算

## 若者支援

令和7年度は、「第3次総合計画」に基づき**未来の基盤づくり**をステップアップするための予算としました。

さまざまな地域課題の解決に向け、**将来にわたって魅力と活力のある、「選ばれるまち」**を築くための取り組みを進めます。

また、将来に向けた財政基盤の構築を図るため、伊達市財政構造改革プログラムに基づき、**持続可能な行財政経営**を推進します。

4ページ以降で、主な事業を紹介します。

## 子育て支援



## 健幸支援

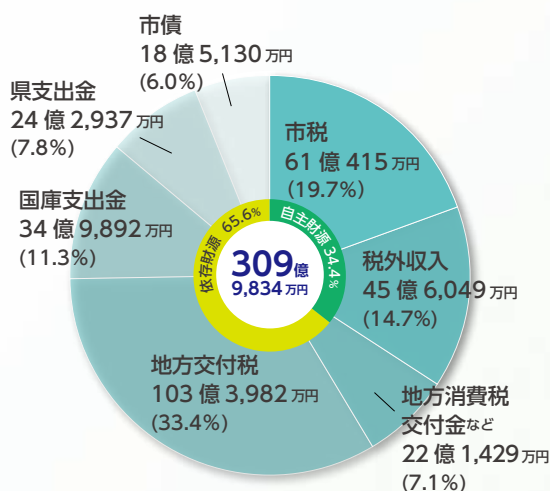


## シビックプライドの醸成

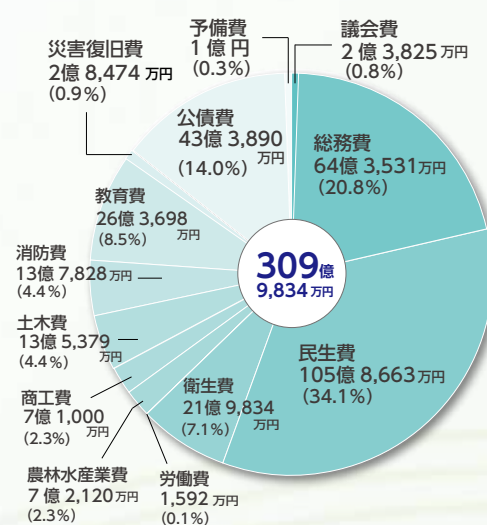


### 一般会計

※小数点第2位以下は四捨五入



歳入 309 億 9,834 万円



歳出 309 億 9,834 万円

### 特別会計

特別会計…目的を特定した事業収入と支出を区別して経理する会計

| 会計名        | 令和7年度         |
|------------|---------------|
| 国民健康保険     | 61 億 3,014 万円 |
| 後期高齢者医療    | 10 億 1,301 万円 |
| 介護保険       | 78 億 4,211 万円 |
| 工業団地       | 1 万円          |
| 財産区 (11 区) | 1,423 万円      |

### 公営企業会計

公営企業会計…事業収入で経費をまかなう独立採算が原則の会計

| 会計名   | 令和7年度                                     |
|-------|-------------------------------------------|
| 水道事業  | 収益的支出 17 億 2,253 万円<br>資本的支出 8 億 5,266 万円 |
| 下水道事業 | 収益的支出 7 億 5,842 万円<br>資本的支出 7 億 2,945 万円  |

# 子育て支援の取り組み

すべての伊達っ子たちが生涯にわたって幸福な生活が送れるように健やかな育ちを促すこと、そして、保護者が安心して子育てができ、子育ての楽しさや喜びを感じられることを目指します。

新規

## 1 か月児健康診査事業

事業費  
165 万円



1 か月児健康診査の費用を助成するとともに、医療機関などとの連携を密にし、必要に応じて健康相談などを行い、出生時から切れ目のない健康診査の実施体制を整備します。

新規

## 伊達っ子の誓い推進事業 D20 サミットの開催

事業費  
0 万円



全ての「伊達っ子」が自分の居場所を実感でき、元気いっぱい夢いっぱい、のびのびいきいきと成長できるよう、児童・生徒が意見や考えを発表するD20サミットを開催します。

新規

## 放課後児童健全育成事業

事業費  
427 万円

休園する市立幼稚園（栗野幼稚園・堰本幼稚園）において、トイレの修繕や床にカーペットを設置し、放課後児童クラブとしての機能移転を行い、施設の利活用と環境改善を図ります。



一新

## 部活動地域移行支援事業

事業費  
1,167 万円

新たにコーディネーターを配置し、学校・地域指導者・関係団体の協力体制の確立と、役割などを明確にした地域移行を支援します。また、指導者ハンドブックや指導者講習の開催により、指導者の質の向上に取り組みます。



継続

## 伊達市版ネウボラ推進事業

事業費  
2,823 万円

お子さまがより良く健やかに育つよう、情報提供や相談体制の充実を図り、子育てにかかる専門職による伴走型支援で、妊娠期から切れ目なく子育て家庭を支援をします。



継続

## 出産・子育て応援事業

事業費  
2,800 万円

妊娠・出産に伴う経済的負担を軽減するため、「妊婦のための支援給付金」を支給します。妊娠届出時5万円、出産届出時5万円を支給し、妊婦の産前産後期間における負担をサポートします。



新規

## スマート農業推進事業

事業費  
1,172 万円



持続可能な農業を実現するため、スマート農業技術を活用した農業の見える化による熟練農業者の技術継承を図ります。また、労働力不足に陥っている分野において農作業の省力・軽労化するための機械購入補助にスマート農業機械枠を新設し、費用の一部を補助します。

継続

## 移住・定住促進事業

事業費  
3,446 万円

県外からの移住検討者を対象とした相談対応などを行うため、移住定住コンシェルジュを配置します。また、移住検討者に伊達市の魅力を伝え、移住を促進するとともに、フォローアップするための交流会などを開催します。



継続

## 高校生伊達な“ミライ” 創出プロジェクト事業

事業費  
60 万円

市内の高校に在学している生徒が、地域を活性化する取り組みや地域の課題を解決するための企画を検討・発表する機会を設けることで、地域に関心を持ち、貢献することができる人材育成を図ります。



新規

## まちなか賑わい創出策 実証プロジェクト事業

事業費  
128 万円



新しい事業にチャレンジしたい人や起業を検討している人、さらには、既存商店街で悩みを持っている人のために、専門員による相談機能を有する拠点（保原駅コミュニティセンター内）を設置し、商店街のにぎわいや新たな雇用の創出を図ります。

継続

## だて婚活支援事業

事業費  
1,423 万円

結婚を希望する独身男女を対象として、セミナーの開催や出会いの場を創出します。また、結婚を前向きに捉えることができるような環境整備を図るために、新婚世帯による住宅取得などの費用を助成します。



継続

## 就農支援事業

事業費  
7,638 万円

新規就農者や農業担い手の確保・定着のため、新規就農者に対して、就農準備段階や経営開始時の経営確立を支援する資金を交付します。また、次世代を担う農業者になることを目指す人に対して、研修農場で農作業技術養成講座を実施します。



# 若者支援の取り組み

人口減少が続く社会において、地域の活力を持続するには、地域における若者が活躍できる環境づくりをさらに推進し、若者が定住していくことが必要です。

このため、地域における多様な担い手を育成するとともに、若者が移住定住できる基盤づくりを推進していきます。



# シビックプライドの醸成 の取り組み

市内外に伊達市の認知度の向上や、魅力の共感を獲得するために、市民がまちに対して「誇り」を持ち、まちに積極的に関わりたいという意欲を持ったシビックプライドの醸成を推進します。

新規

## 消防団活動事業 (伊達市消防団準中型自動車 運転免許取得費補助制度)

事業費  
183万円



道路交通法改正（平成 27 年）に伴い、普通免許で準中型車（3.5ト以上）の消防車両を運転できなくなったため、平成 29 年 3 月 12 日以降に運転免許を取得した消防団員に対し、準中型免許を取得する経費について助成します。

新規

## ごみ減量化 リサイクル事業

事業費  
245万円



令和 12 年度までに 1 人あたりの 1 日のごみ排出量を 871 グラム以下とすることを目指し、生ごみ処理機購入費補助やチラシ配布などによる周知啓発、出前講座、小型家電・未開封食料品などの回収により、ごみの発生抑制と資源の有効活用を図ります。

一新

## 伊達食ブランド化推進事業

事業費  
626万円

伊達鶏の会に対し、伊達鶏を生かした地域振興活動を支援します。また、ふくしま三大鶏フェスやおにぎりサミットに参加し、伊達鶏をはじめとする伊達市の物産のプロモーションを展開すると共にブランド化の推進を図ります。



一新

## 伊達市版ふくしま DC 事業

事業費  
1,376万円

ふくしまDCを市内観光誘客の契機と捉え、既存の観光コンテンツの磨き上げを行うと共に、新たなコンテンツの発掘を行います。また、家族向けの特設ホームページを創設し、観光誘客に向けた情報発信を強化します。



継続

## シティプロモーション 推進事業

事業費  
468万円

伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長、だてフォト部などの活動を通じて、伊達市の魅力を発信するシティプロモーションを推進します。市民向けの魅力発信など、インナープロモーションを強化し、市民のシビックプライドを醸成します。



継続

## 農産物魅力発信事業

事業費  
2,656万円

福島第一原子力発電所の事故による農作物などの風評被害を払拭するため、本市農産物を首都圏などへ広くプロモーションし、本市の基幹産業である農業の振興や発展につなげる取り組みを行います。



新規

## 伊達市高齢者 ライフサポート事業

事業費  
105万円



あんしんノート（エンディングノート）の配布や高齢者ライフサポート窓口の設置など、自分の人生を見直して、その後の人生を有意義に生きるための準備である「終活」を支援し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

新規

## 骨髄移植ドナー支援事業

事業費  
14万円

骨髄などの移植を推進するため、骨髄バンクに登録し、提供を行った市民のうち、ドナー休暇がないなどの要件に該当する人を対象として、通院や入院、面談にかかる日数に応じた休業補償分の助成を行います。



一新

## 健康運動 習慣化支援事業

事業費  
3,138万円

生活習慣病を予防し健康寿命の延伸を図るため、「元気づくり会」を支援します。令和 7 年度は、集会所のない地域において、地区交流館や中央交流館などを会場とし、元気づくり会の普及拡大を図ります。



新規

## 歯っぴー健口事業

事業費  
223万円



生涯を通じた歯・口腔の健康を維持するための定期的な歯科検診の機会として、20 歳・30 歳・40 歳・50 歳・60 歳・70 歳になる希望者を対象に、歯科医療機関における歯周疾患検診および歯科保健指導を実施します。

新規

## 带状疱疹ワクチン接種事業

事業費  
1,948万円

带状疱疹が予防接種法の B 類疾病に位置付けられ、令和 7 年 4 月 1 日から定期接種化されたことから、带状疱疹の後遺症および重症化を予防し、健康の維持・増進を図るため、対象者へワクチン接種を実施します。



継続

## 健幸都市推進事業

事業費  
1,031万円

地域の資源を活用したウォーキングイベントの開催など、「歩く」ことによる健幸都市づくりを推進します。また、毎日の健康づくりでポイントを貯めて特典を受け取れる「だてな健幸ポイント事業」を推進し、市民の健幸意識の高揚を図ります。



# 健幸支援の取り組み

「健幸都市」の実現に向け、市民・地域主体の健康づくり、疾病予防に向けたサービス提供など、予防を重視した事業の実施により健康寿命を延ばし、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指します。

